

平成 26 年度 予算施策評価表

様式 1

施策名	食の安全・安心	予算施策	ns02
担当部局名	農林水産部 農業振興局 畜産課	評価責任者	課長 中谷 哲哉
		連絡先	2577

1 施策の内容

施策の目標	食は生活の糧であり、生命を育む根源である。生産流通段階における農林水産物の安全性確保を図り、消費者に対して安全・安心な農林水産物を供給する。
これまでの取組み	食の安定生産と安全性を確保するために、家畜保健衛生所、農林水産研究所等において、生産段階における危害因子(病原体による汚染、動物用医薬品や農薬の残留等)の調査および指導等により、リスク管理の強化を図っている。また、生産履歴や加工原料等の情報を消費者に提供できるトレーサビリティシステムの普及定着に努めるとともに、流通販売段階においても食品表示の監視・指導に努め適正表示の徹底を図っている。

成果指標名(目標の達成度合いを示す指標)							
A	生産段階における安全性確保達成状況	B	流通段階における安全性確保達成状況				
選択理由	食の安定生産と安全性を確保するためには、生産段階における危害因子の調査・監視を実施し、リスク管理の強化を図ることが重要。	選択理由	消費者に農水産物の正確な情報を提供するためには、流通販売段階における食品表示の監視・指導を実施し、食品表示の適正化を図ることが重要				
算定方法	[調査・監視実施件数－不適正事例件数(畜水産物における抗菌性物質等医薬品や農作物における農薬の残留件数)]／調査・監視実施数×100	算定方法	調査において確認された生鮮食品の不適正表示件数				
成果と指標の関係	強	指標の種類	フロー	成果と指標の関係	強	指標の種類	フロー

指標・事業費の推移										
区分	成果指標A			成果指標B			事業費			
	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	予算	国費	その他	県費
単位	%		%	件		%	千円			
24年度	100	100	100.0%	102	42	242.9%	100,938	28,488	3,034	69,416
25年度	100	100	100.0%	63	80	78.8%	102,626	26,641	8,552	67,433
26年度	100	100	100.0%	61	95	64.2%	251,395	29,933	116,408	105,054
27年度 目標値	100			69						
最終目標	100			0						

2 施策の評価

県の関与の必要性	高い	説明	各法律(JAS法、家畜伝染病予防法、BSE特措法、農薬取締法、薬事法等)に基づく県の事務として実施しているもののほか、安全・安心な農林水産物の生産供給は、県民の食生活に直結するものであり、県が積極的に関与する必要がある。						
成果指標A	成果動向	説明	不適正事例がなかったため、成果動向は順調で、各事業における生産段階での調査・監視が適切に機能しており、高い水準で農林水産物の安全性の確保がなされている。 適切な監視・指導体制を維持することが重要であり、これらの取り組みを積み重ねることで成果の維持が期待できる。						
	成果向上余地		ほとんどなし						
成果指標B	成果動向	説明	不適正表示件数の減少に努めているところであるが、新たな食品表示ウォッチャーの委嘱に伴い、調査対象とする生活圏が変更され新規の調査店舗が増えたことで、不適正表示件数が増加した。 適切な監視・指導体制を維持することが重要であり、これらの取り組みを積み重ねることで成果の向上が期待できる。						
	成果向上余地		大幅な向上可能						
参考：構成事務事業の評価の平均値	成果動向		2.21	順調・向上	成果向上余地	1.42	ある程度の向上が可能		

今後予測される環境変化	食品の偽装表示、無登録農薬問題、BSE・高病原性鳥インフルエンザ・口蹄疫の発生を契機として、食の安全・安心に対する消費者の関心は高まっており、今後も、食に直結する農林水産物の安全性と信頼性に関する取り組みは、重要性が高まるものと考えられる。
-------------	--

